

あいの



Vol. 40

令和2年1月発行



特集

婦人科

(診療科紹介⑨)

お知らせ

子宮がん・乳がん検診のご案内

就任医師紹介

活動報告

クリスマスコンサート

「婦人科」

今月号は、婦人科の紹介です。

女性の社会進出が進み、女性の働き方が多様化するに伴ってライフサイクルは大きく変化しています。自らが希望する形で働き家庭生活を送る上で健康がその基盤となることは言うまでもない事実です。

しかし、女性の場合にはエストロゲンの急激な変化等によって生涯を通じて、男性にはない心身の変化を経験します。閉経前の女性は月経・排卵・次の月経とおよそ1ヶ月単位で変動が繰り返されており、女性の人生はエストロゲン濃度変化に密接に関係していると言っても過言ではありません。子宮筋腫、子宮内膜症、子宮腺筋症、月経前症候群などに代表される有経女性のエストロゲン濃度に関連した疾患群に罹患している女性は特に、1ヶ月単位で体調や気分の変化に対応しなければなりません。

先進諸国では、経口避妊薬(OC)の使用によって予期しない妊娠は劇的に減少し、女性のQOL向上に貢献しました。OCは非常に高い避妊効果以外に、月経痛の改善、月経量の減少、貧血の改善、月経前緊張症・月経前気分不快障害の症状改善、にきび・多毛症の改善、卵巣癌・子宮体癌のリスクの低下などの副効用が数多くあります。本邦でも2008年・2010年と相次いで月経困難症の治療薬として保険収載され、OCと区別するために低容量エストロゲン・プロゲステロン配合薬(LEP)と呼ぶ慣例となっております。しかし、未だに薬剤のデメリットが強調されるあまり、そのメリットが過小評価されていて、その有益性が活かされていない状況が続いているのも事実です。また、多くのメリットを有するOC・LEP製剤の副効用を知らない女性も未だ多く存在します。

当科では、患者様一人一人の症状や病状だけでなく、ライフサイクルに合わせた治療方針をご提案できるように心がけております。OC・LEP製剤をきちんと説明を受け納得した上で正しく使用する事で、女性のライフサイクルにおいてQOL向上が見込めます。月経周期に伴う体調の変化でお困りの女性の方は、お気軽にご相談頂けると幸いです。宜しくお願い申し上げます。



高井 雅聡・西山 浩司



後山 尚久

後山先生
漢方外来(予約制)
毎月 第4水曜日
13:30~15:00



外来診療担当表

★は予約制です

曜日		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
婦人科	婦人科	-	西山 13:30~ 15:30	-	-	高井	-	-	-	-	西山 13:30~ 15:30	-	-
	更年期	-	-	-	-	-	★第4後山 13:30~ 15:00	-	-	-	-	-	-

外来受付時間 午前 8:00~11:00 診察時間 午前 9:00~
午後 12:00~ 午後 1:30~

主な診療対象疾患

- ・子宮筋腫、卵巣腫瘍等の良性腫瘍
- ・子宮、卵巣の悪性腫瘍
- ・子宮内膜症
- ・不妊症
- ・骨盤腹膜炎、膣炎等の感染症
- ・月経不順、更年期障害等の内分泌疾患
- ・骨盤臓器脱



子宮がん検診・乳がん検診

茨木市の各種がん検診等を行っています。

子宮がん

対象：20歳以上

費用：500円 ※1

検査内容：問診・視診・内診・細胞診

※ 年度内に達する年齢を基準としています。

※1 2年に1回の実施です。摂津市の方も600円でお受けいただけます。

乳がん検診

対象：茨木市にお住まいの40歳以上

費用：800円

検査内容：問診・視触診・マンモグラフィ



フラセンタ療法（メルスモン注射）について

メルスモン注射は医療保険適用医薬品であり、対象の方は保険診療内で注射を受ける事が可能です。

保険診療の対象外の方でも、自費診療として注射を受ける事が可能です。

メルスモン注射を受ける前に、説明文をお読みの上、同意書にサインをいただきますことをご了承ください。

保険診療 対象：更年期障害（40歳～59歳の女性）、乳汁分泌不全（産後）

用法用量：1日1回1管（2ml）を皮下注射

週1～3回の使用

料金：保険負担割合

※他院からの紹介状をお持ちでない初診の方は、診療費とは別に選定療養費として1,080円かかります。

自費診療 対象：保険診療対象外の方

1回に2管接種を希望される方

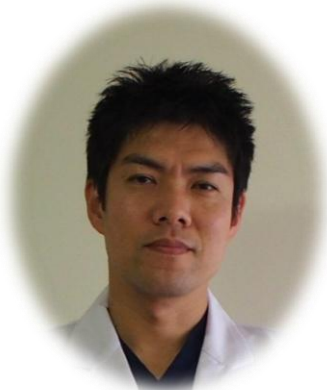
料金：1管 2,500円（税込）



第7回クリスマスコンサートを開催しました！
 当院医事課職員によるハンドベル演奏、リハビリテーション科職員による健脚体操、府立大冠高校OBの演奏に患者様やご家族様が和やかに過ごされました。



就任医師紹介



ばんどう まさと
 坂東 磨沙人 (精神科)

令和2年1月に入職しました坂東磨沙人と申します。平成22年に岐阜大学を卒業し、初期臨床研修後は岐阜県や兵庫県内の病院に勤務しておりました。
 今回、合併症・リエゾンの仕事をさせていただくことになり、これまでとは違った経験ができるのではと楽しみにしています。不慣れなことも多くご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

入院のご相談は「地域医療連携センター」まで TEL：072-627-7611(代) FAX：072-627-3627

平日(月～金曜日)の20時までは救急患者様に対応できる体制を整えています。